

2020年7月27日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂
(コード 3121 東証 2部)
問合せ先 取締役 CFO兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-5224-4900)

IDCM Global Limitedとの資本業務提携に関するMOU締結のお知らせ

当社は、2020年7月27日付で、大手暗号資産交換所運営会社IDCM Global Limited（以下「IDCM社」といいます）と資本提携、及び全世界での暗号資産関連業務での業務提携に関するMOUを締結することを決定し、締結いたしましたのでお知らせいたします。

IDCM社は、米国Alpha Square Groupによって出資・運営されている大手暗号資産交換所運営会社で、2020年6月29日付「IDCM TAIWAN・福賀鳳龍股分有限公司との業務提携に関する基本合意のお知らせ」でご報告させていただきました通り、当社は、IDCM社の台湾法人・IDCM TAIWAN福賀鳳龍股分有限公司（以下「IDCM TAIWAN」といいます）との間で、日本、アジア、欧州等全世界で、暗号資産関連業務での業務提携に関する基本合意を締結いたしました。

その後の交渉で、IDCM本体とMOUを締結することとなったものです。

尚日本におきましては、日本の資金決済法、金融商品取引法で認められている業務のみ行ってまいります。また海外の暗号資産交換所では、日本の居住者は口座開設・取引はできませんので、予めご承知おきください。

1. IDCM Global group の概要

IDCM社は、セーシェル共和国で合法的に設立された、暗号資産取引、法定通貨との交換、取引所アライアンス、STO, IEOでの資金調達支援など多種多様なサービスを展開する暗号資産取引プラットフォーム運営会社です。IDCM台湾、IDCM韓国、IDCMドバイ、IDCMベトナム、IDCMフィリピン、IDCMトルコ、IDCMドバイ等世界10の暗号資産交換所とのアライアンス（注1）、ETH/USDT, BTC/USDT, ETH/BTC, LTC/USDT, LTC/BTC, EOS/BTC等100以上の暗号資産取引組み合わせ（注2）、登録ユーザー約100万人、日次アクティブユーザー2万人、コインマーケットキャップ（注3）での取引ランキングは2020年7月20日現在1位を誇っています。

主要サービスは、IEOサービス、プロジェクトインキュベーション（新規トークン開発・ホワイトペーパー作成・トークン募集販売・プロモーション・インターネットでの取引）、取引所アライアンスサービス（取引所の運営代行、ホワイトラベルシステム（注4）提供）、STOサービス（セキュリティトークンの募集・取引）、決済サービス（暗号資産と法定通貨の交換、分散型ウォレット開発）などを行っています。

（注1）アライアンス：暗号資産取引の取引マッチング数を増加させ、流動性を高める為、暗号資産交換所の枠を超えて取引をすること

（注2）暗号資産取引組み合わせ：取引対象暗号資産と、同暗号資産と交換できる法定通貨や暗号資産の組み合わせのこと

（注3）コインマーケットキャップ (Coinmarketcap.com)：2013年に米国で創設された世界中で発行されている1,000種類以上の暗号資産の時価総額ランキングや現在の取引価格、取引量、過去の価

格推移などを一覧でき、また暗号資産の取引量を取引所別のランキングとして見ることも可能な、暗号資産関係者の主要情報サイトの一つ。

<https://coinmarketcap.com/>

(注4) ホワイトラベルシステムとは、IDCMが独自に開発した暗号資産交換所取引システム。第三者がIDCMとシステム使用許諾契約を締結し、自社システムとして利用することが可能。

2. 資本提携及び業務提携に関するMOU締結の背景

IDCM社は、世界で60以上の暗号資産を取り扱っており、上記の通り登録ユーザー約100万人、日次アクティブユーザー2万人、2020年7月19日現在コインマーケットキャップでの取引ランキング1位を誇っていますが、日本では拠点がなく、また欧州展開でも拠点がなく世界マーケットをカバーする上で課題を抱えており、暗号資産関連業務を行い暗号資産関連業務に理解のある日本の株式上場企業のパートナーを探しておりました。2020年6月29日の当社とIDCM TAIWANとの業務提携に関する基本合意後、IDCM TAIWANがIDCM社と当社を仲介し協議を重ねてきました。

一方当社は、2018年に100%子会社として「MBKブロックチェーン株式会社」（以下「MBKB」といいます）を設立し、日本でブロックチェーン関連事業を推進すると共に、2020年5月からエストニア暗号資産交換所「ANGOO Fintech」の運営にかかる業務の一切（顧客管理・開拓、マーケティング、取引管理、システム管理など）を請負っておりましたが、「ANGOO Fintech」の顧客開拓、新規トークンの上場マーケティングに課題を抱えていました。

そこで両社のニーズが一致し、お互いの強みを生かし、今後の暗号資産関連業務に関し、資本提携及び業務提携に関するMOUを締結することになりました。今後資本提携、及び業務提携の詳細が決まり次第、適宜情報開示をしてまいります。

3. MOUの内容

- (1) 当社からIDCM社への出資の検討
- (2) IDCM社から当社への出資の検討
- (3) 当社とIDCM社での暗号資産関連業務での協働に関する検討

*日本では、日本の資金決済法、金融商品取引法で認めれている業務のみ行ってまいります

*海外では日本の居住者は対象とせず、日本法は適用されず、現地の法律に基づき運用してまいります。また、個別案件ごとの具体的条件は、協議のうえ、今後決定してまいります。

4. 提携の相手先の概要

(1) 名 称	IDCM Global Limited	
(2) 所 在 地	Suit 23, 1 st Floor, Eden Plaza, Eden Island, Mahe, Republic of Seychelles	
(3) 代表者の役職・氏名	Chairman Michael Zhao, CEO Shi Jing	
(4) 事 業 内 容	暗号資産交換所運営、ブロックチェーン関連業務	
(5) 資 本 金	US\$1,000,000(約107百万円。@107.23円/US\$*)	
(6) 設 立 年 月 日	2018年8月24日	
(7) 上 場 会 社 と 当該会社との間の関係	資 本 関 係	ありません。
	人 的 関 係	ありません。
	取 引 関 係	ありません。
	関連当事者への 該当状況	ありません。
(8) 財政状態及び経営成績	相手先の意向により非開示とさせていただきます。	

*三菱UFJ銀行外国為替相場（2020年7月17日）

5. 提携の日程

(1) MOU締結社内意思決定日	2020年7月27日
(2) MOU締結日	2020年7月27日
(3) 業務提携内容検討開始日	2020年7月27日

*資本提携及び業務提携の詳細が決まり次第、適宜情報開示をまいります。

6. 今後の見通し

本件が当社連結業績へ与える影響は、軽微と見込んでおりますが、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上